

会務報告

I. 日本珪藻学会第40回大会

日本珪藻学会第40回大会が、令和元年5月11日(土)、高知市内のオーテピア(新図書館等複合施設:高知市追手筋2-1-1)で開催された(共催:高知大学, 高知みらい科学館, 後援:海洋研究開発機構)。また、翌日5月12日(日)には、会場を高知大学海洋コア総合研究センターに移し、ワークショップ「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点と珪藻研究」が開催された(珪藻学会と高知大学の共催)。

初日5月11日には、口頭発表8件、ポスター発表9件の講演が行われ、講演終了後には総会ならびに表彰式が行われた。口頭発表1件、ポスター発表5件が海外の堆積物を扱った成果発表であり、その多くが学生による取り組みであった。国内外の現世~化石珪藻に関する研究成果が幅広く紹介されるとともに、機械学習を用いた同定の試みなども紹介され、活発な議論がなされた。

総会の報告・審議の後、本大会優秀講演賞として高橋啓啓君(総研大)ほかによる「南極沿岸域における海水生成期のアルスアルジー群集組成」が選ばれ、出井会長より表彰状が手渡された。

総会終了後は、オーテピア最上階にある高知みらい科学館で記念撮影を行い、展示やプラネタリウム上映を見学、その後会場から徒歩1分のアーケード街居酒屋「明神丸」で懇親会を開催し親睦を深めた。

2日目5月12日のワークショップは、珪藻研究分野における共同利用機器利用ニーズを探り、新たな共同研究シーズを開拓すべく、企画・開催され、共同利用の仕組みや、保有機器を活用した境界領域の研究事例、教育実践事例や現行プロジェクトについて紹介され、講演終了後は施設・機器などを見学した。

大会には全国から42名の会員・非会員が参加し、初日・2日目で会場が全く異なり特異な開催体制であったにも関わらず、2日間でのべ74名の参加者により、活発な議論がなされた。大会補助経費一律5万円の支給が総会で認められ、本大会から適用されることとなったが、本大会は参加登録費により運営費を全て賄うことができたことから全額学会に寄付することとした。

大会運営に際しては新旧の学会長・幹事・運営委員の皆様へ逐次的確なアドバイスをいただき、共催・後援機関や高知県観光コンベンション協会の支援を得たことで、無事開催できた。参加者ならびに全ての関係者に、大会実行委員会を代表して心より感謝申し上げる。

II. 2019年(令和元年)度運営委員会

2019年(令和元年)度日本珪藻学会運営委員会が2019年5月11日(土)11時より高知市オーテピア4階集会所において開催された。出席者は、出井雅彦, 大塚泰介, 長田敬五, 小林秀明(庶務), 齋藤めぐみ, 佐藤晋也, 辻彰洋, 豊田健介, 伯耆昌子(50音順)の9名であった。

【報告事項】

- 1) 会員状況
- 2) 編集委員会関係状況

- 3) 会計状況
- 4) 学会誌 Diatom vol. 34 の献本先
- 5) 次回の大会および研究集会開催地
- 6) 日本分類学会連合参加報告
- 7) 日本珪藻学会 学会賞
- 8) その他

【審議事項】

- 1) 2018年(平成30年)度決算
会計監査の田中宏之氏と鈴木秀和氏の監査を受けた決算が承認された。
- 2) 2019年(平成31年)度予算
新たに以下の内容を加えた案で承認された。
 - ・庶務雑費に投稿論文査読料と会員名簿整理用のソフト購入費等を含め10万円を計上し計20万円とする。
 - ・大会研究集会開催補助費として、各大会5万円を上限とし10万円を計上する。
- 3) その他
会則改定:以下の2項目の追加と付則の改定が承認された。
 - ・第2章第7条2項 会員は、別に定める様式により会の事務局へ申し出ることにより、退会することができる。
 - ・第2章第8条2項 会費納入が3年の間納めないものは、会員資格を喪失し、除籍される。
 - ・付則 第10条の事務局の変更(日本歯科大→文教大)
第12条の会則の改正日を令和元年5月11日とする。

III. 2019年度総会

2019年度総会が、第40回大会会期中の5月11日(土)に豊田健介氏を議長として大会会場(オーテピア4階ホール)で開催された。

【報告事項】

- 1) 会員状況
豊田健介幹事より以下のような会員状況が報告された。普通会员208名(一般会員159名, 学生会員40名, 奨学会員3名, 家族会員2名, 海外会員4名), 名誉会員2名, 団体会員5名, 賛助会員2名(個人1名, 団体1名), 合計217名(2019年4月現在)。
- 2) 編集委員会関係状況
編集委員長の佐藤氏から、Diatom 34巻が発行されたこと、掲載論文がJ-Stageに公開されていること、Diatom 35巻の編集状況などが報告された。
- 3) 会計状況
2018年(平成30年)度の決算が報告された。会計監査の鈴木秀和氏から当該決算が適正であることが報告された。
- 4) DIATOMの献本先
関係機関には継続献本とし、個人に対しては継続

の意向をメール等で確認することとした。

5) 今年度の研究集会および次年度大会について

今年の日本珪藻学会第39回研究集会は真山茂樹氏(東京学芸大)を世話人として2019年11月30日(土)、12月1日(日)に学芸大学小金井キャンパスで開催されることが報告された。また、次年度の日本珪藻学会第41回大会は辻彰洋氏(国立科学博物館)に打診中であることが報告された。

6) 日本分類学会連合総会参加報告

日本分類学会連合第19回総会が、平成31年1月12日(土)10:00~12:00に国立科学博物館上野本館講堂で開催され、出井雅彦学会会長が出席した。2018年度会計決算および2019年度予算案が報告・承認されたこと等の概要が報告された。

7) 日本珪藻学会学会賞の発表

小林秀明庶務幹事より、平成31年度日本珪藻学会論文賞は、投票の結果、DIATOM 34巻8-29頁に掲載された、Takashi Chiba, Yuichi Nishimura and Taisuke OhtsukaのFossil diatom assemblages during the last millennium in the Toberi River mouth area, Hokkaido, Japanに決定したことが報告され、賞状を授与した。なお、功労賞の推薦はなかったことが報告された。また、日本珪藻学会第40大会最優秀発表賞の表彰は、本大会終了時に行うことが告げられた。

8) その他

・真山茂樹氏より日本珪藻学会第39回研究集会の詳細について案内がなされた。

(2)大会研究集会開催補助費として、各大会5万円を上限とし次年度予算に10万円を計上することが承認された。

3) その他

(1)会則の改定(第2章 会員について)

以下の2項目の追加と付則の改定が承認された。

- ・第2章第7条2項 会員は、別に定める様式により会の事務局へ申し出ることにより、退会することができる。
- ・第2章第8条2項 会費納入が3年の間納めないものは、会員資格を喪失し、除籍される。
- ・付則 第10条の事務局の変更(日本歯科大→文教大)

第12条の会則の改正日を令和元年5月11日とする。

(2)会員から、Diatom 34巻の表紙写真の間違いは、エラーターシールを作り対応すべきではないかとの指摘があり、そのように対応することになった。

IV. 日本珪藻学会第39回研究集会

日本珪藻学会第39回研究集会が令和元年11月30日(土)、12月1日(日)の両日、東京学芸大学において、真山茂樹氏を研究集会実行委員長として開催された。参加者は82名(一般67名、学生15名)であった。第1日目には一般講演(口頭発表:6題)の後、写真撮影があり、次いでポスター発表(15題)が行われた。口頭、ポスター発表共に活発な討議がなされた。その後、初の試みとして珪藻研究討論会「ひとり悩まず、ひとり占めせず、参加者みんなで考えよう」が行われた。これは参加者全員が配布されたカードに話題を1つ書いて提供し、その中から幾つかを参加者全員で考えるという趣向であった。10の話題について、様々な人がそれぞれの見方で発言し、珪藻研究について一体感のある雰囲気会場を包み込んだひと時となった。夕刻からは会場を武蔵小金井駅北口にあるレストラン「ミアボッカ」に移動して懇親会が行われた。スタッフを含め70名の参加者は、小洒落た店内でワイングラスを片手にイタリアン料理に舌鼓を打った。また、会場では、2日目の公開シンポジウムの登壇者の紹介も行われ、新たなネットワーク作りがいたる所で繰り広げられていた。2日目は4題の口頭発表の後、石野沙季氏と渡辺剛氏に最優秀発表賞が、また高校生による研究のポスター発表を行った海城中学高等学校生物部に奨励賞が授与された。次いでRichard Jordan氏により来年山形で開催されるIDS 2020の紹介がスライドと共に行われた。その後、10時40分より16時20分まで、公開シンポジウム「珪藻—明日に架ける橋」が行われた。学会員以外では34名の一般市民の参加があった。9人の登壇者のうち8人は非会員であり、それぞれが珪藻に関する、多様性、エネルギー、環境、アート、教育、工業、医療、バイオをテーマに講演を行い、最後はパネルディスカッション形式で登壇者全員と聴衆間で質疑応答が行われた。本研究集会では5社による企業展示もあり、休憩時間を賑わいのあるものとしてい

【審議事項】

1) 2018年(平成30年)度決算

会計監査を受けた以下の決算が承認された。

2018年(平成30)年1月1日~2018年12月31日

平成30年(2018年)度一般会計

収入		支出	
前年度繰越金	5,935,173	Diatom 34巻 印刷費	481,312
会費	608,000	Diatom 34巻 国内発送費	23,566
会誌売上金	30,000	庶務雑費	70,140
受取利息	69	大会開催助成金	96,000
		日本分類学会連合分担金	10,000
		インターネット使用料	12,664
		次年度繰越金	5,879,560
合計	6,573,242	合計	6,573,242

2) 2019年(令和元年)度予算

(1)以下の予算案が提案され、予算が承認された。

2019年(令和元年)1月1日~2019年12月31日

令和元年(2019年)度一般会計予算

収入		支出	
前年度繰越金	5,879,560	Diatom 35巻 印刷費	500,000
会費	600,000	Diatom 35巻 発送費	100,000
会誌売上金	30,000	庶務雑費	200,000
		大会研究集会開催助成金	100,000
		日本分類学会連合分担金	10,000
		インターネット関連維持費	13,000
		予備費	5,586,560
合計	6,509,560	合計	6,509,560

た。また、研究集会を挟んで「ケイソウ展 part II」が会場の向かいにある美術科ギャラリーで開催されており、参加者は2日間、珪藻のもつ知と美を堪能した。

本研究集会開催にあたり、小金井市教育委員会に後援をしていただいた。また、企業からの協賛には運営面で大いに助けられた。さらに集会の準備、運営に多大なる協力をいただいた研究集会スタッフ各位に深く感謝し上げる。

V. 2019年度編集委員会

2019年度日本珪藻学会編集委員会が5月11日(土)10時より大会会場(オーテピア)4階会議室において開催された。出席者は、出井雅彦(会長)、佐藤晋也(編集委員長)、大塚泰介委員、齋藤めぐみ委員、辻 彰洋委員であった。

1. 報告事項

1) Diatom 第34巻(報告)

- ・総ページ数89ページ。論文9編(原著5編, 研究ノート4編), 第39回大会・第38回研究集会のプログラムと要旨, 会務報告, 英文論文の和文摘要。
- ・論文の掲載は基本的に受理順とした。
- ・引き続き印刷は, (株)国際文献社に依頼した。

2) Diatom 掲載論文のウェブ上での公開について(報告)

- ・受理された論文から順にPDFをJ-Stageにアップしている。
- ・32巻(2016年)掲載の全論文について, 2018年12月末日よりフリーアクセスとした。また, 即時公開権が購入された論文については, 33巻(2017年), 34巻(2018年)についてもフリーアクセスとしている。

3) 第35巻編集状況(報告: 2019/5/6 現在)

受理論文:

- ①(原著) 35: 1-17. 富小由紀, 大塚泰介, 林 竜馬, 里口保文, 堂満華子: 古琵琶湖層群蒲生層最上部

から産出した化石珪藻フロア。(間もなく校了) 受付, 審査中: 4件

4) 編集委員会体制(平成30年, 令和元年)

編集委員長: 佐藤晋也(福井県立大学)

編集委員: 大塚泰介(滋賀県立琵琶湖博物館), 齋藤めぐみ(国立科学博物館), 澤井祐紀(産業総合研究所), 須藤 斎(名古屋大学), 辻 彰洋(国立科学博物館), 納谷友規(産業総合研究所), 渡辺 剛(東北区水産研究所)

2. 審議事項

1) 特集号について。

第34回大会のミニシンポジウムと関連した「珪藻の細胞学」について特集号を作成する案があったが, これまで進展していないことから, 本企画は撤回することとなった。

2) オンラインカラーについて。

オンライン版PDF原稿については無料でカラー図版にすることが可能である。このことを, 投稿規定に明記することとなった。

3) その他。

試験的に, 査読者に謝金として1原稿あたり5千円を支払うこととした。

VII. 2020年度大会および研究集会開催予定

珪藻学会第41回大会(つくば)

期 日: 2020年5月16日(土), 17日(日)

場 所: つくば国立科学博物館(つくば市天久保4-1-1)

世話人: 辻 彰洋氏

日本珪藻学会第40回研究集会(詳細未定)

期 日: 2020年10月予定

場 所: (詳細未定)

世話人: (詳細未定)

日本珪藻学会賛助会員

パリノ・サーヴェイ株式会社

〒375-0011 群馬県藤岡市岡之郷字戸崎 559-3

☎ 0274-42-8129

日本ケイソウ土建材株式会社

〒191-0012 東京都日野市日野 270-4

☎ 042-843-2877